

右手でも左手でも..

秋スポ 162号で外房の衝突事故を取り上げましたが、昨年の暮れに起きた茨城県鹿島港沖の事故も凄惨な状況だったので、あらためてお伝えし、事故防止に役立てて頂きたいと思います。11月28日午前5時半頃、鹿島港に入港予定の貨物船H(約500トン)と鹿島港から出港した遊漁船F(5トン)が港沖で衝突し、Fは転覆、船首を残して沈みました。たくさんの釣客が海に投げ出され、この事故で釣客1名が死亡、4人が骨折等の重傷、7人が軽傷を負うという大事故になりました。貨物船の船首部分が遊漁船の右舷に衝突していることから、海保では双方が衝突を避けるために必要な注意義務を怠ったとして、両船長を逮捕しました。この時期の日の出時刻は6時半頃なので、事故当時は真っ暗だったと考えられます。視界が効いていれば、何らかの回避するための手立てがあったのではないかと推測されますが、残念でなりません。事故船Fと隣接する遊漁船Kがほどなくして出港すると、付近に停船していた貨物船Hから「救助をおねがいします。」との要請を受けたそうです。そして暗い海から「助けてくれ!」という声が聞こえたため、ライトで海面を照らすと、ライフジャケットを着た男性2人が漂っていたとのことでした。転覆した船底につかまる人もおり、救命浮環を投げて助け上げましたが、皆寒さで震えあがっていたそうです。無線連絡を受けた仲間の船によって、他の釣客も救助されましたが、お一人が帰らぬ人となりました。事故船の船長も救助されましたが、ショックで声が出せなかったそうです。また救助したKの船長は、「この仕事を20年しているが、浮環を投げたのは初めて、まるで映画の世界のようで、暗くて見えなくて怖かった。」と振り返りました。関係者によると、この日は普段より入港する貨物船が多く、遊漁船が貨物船をかわしながら沖をめざしていたそうです。楽しみな海の休日が一転、悲惨な事故になり、人生を終えてしまった方、人生を棒に振ってしまった方、すべてが一瞬で消え去りました。基本通りに見張りをしていれば、思い込み操船をしなければ、起きてしまったからでは遅いのです。海のルール遵守は勿論ですが、相手の出方を待つのではなく、自艇から積極的に危険を回避する行動が必要とされているのではないのでしょうか。



※釣果情報は裏面です

安全航行しましょう!!

- 始業点検(ガソリン・主機・補機・船体・アンカー)
- 常備品(人数分ライフジャケット・信号紅炎・携帯電話・救命浮環・オール・ラジオ)
- 湾内徐行・漁網避難航行・天候注意・水上バイク注意・釣糸注意

今月の保管施設

出艇数 <small>令和3年9月16日～令和3年10月15日</small>	56 艇
--	------

夜間係留数 <small>令和3年9月16日～令和3年10月15日</small>	8 艇
--	-----

保管場所空き状況 <small>令和3年10月25日現在</small>	現在満艇 空待ち6艇
---	---------------

今月の事故	接触等	0	件
	主エンジン停止	1	件
	ガス欠	0	件

秋スポ・トピックス

久しぶりに緊急事態宣言が解除されました。しばらく閉鎖していた立石駐車場も解放されたため週末は満車必至で、秋谷漁港にも人の流れを感じるようになりました。とはいえ、コロナが終息した訳ではないので、マスク、手洗い、消毒は徹底して行い団体行動は避けましょう。最近の傾向として突然の降雨があります。夏の間は不要?だった雨具もこれからは必須です。濡れた身体で北風に吹かれると低体温症のリスクが増しますので、常に艇に保管して下さい。



この時期は必携です

魚の名前あれこれ

「ゴンベ」という魚がいます。オキゴンベ、メガネゴンベ、クダゴンベなどなど。何故ゴンベなのか?背ビレをよく見ると、棘条先端に糸状皮弁が付いており、これが江戸時代の子供の後頭部に剃り残された一束の毛「権兵衛」を連想させることから名付けられたとのことです。もうひとつの特徴は長い胸ビレで海藻やサンゴにピタッと宿れる体幹の持ち主。10センチ以下がほとんどで、残念ながら食用として認知されていません。



オキゴンベ。背ビレの皮弁に注目

指定管理者からのお知らせ

クレーン点検と避難訓練のお知らせ

こんにちは、秋谷船舶保管施設等指定管理者の(株)昭和です。毎年恒例の津波避難訓練を12月上旬に行います。ただ、未だにコロナ感染のリスクが高いため、できるだけ少人数で行いたいと思います。「どんなことやるのかな?」とご興味のある方はご見学OKです。また12月7日(火)と8日(水)にクレーン年次点検を予定しています。8日水曜日は営業日ですが、クレーン昇降ができないため出船できません。平日ご利用の皆様にはご迷惑をお掛けしますが、日程調整をお願いいたします。天候等で予定変更の場合はHPにてお知らせいたします。

お問い合わせは ☎ 0120-560982 (コールアキヤに)

今月の釣果情報

秋が深まり魚も脂が乗ってきます。サワラありワラサありマダイあり、アオモノ、ソコモノどちらも狙えて迷うところです。カワハギのキモも着実に育ち、さらにこれからはハタやアマダイも。台風さえ来なければ「もう出るしかないでしょ!」という状況です。ただし、日没が早いので15時前の帰港を心がけてください。



食べるの楽しみですな



食べるのもったいない?



アカムツ4兄弟



これからハタシーズン



着実に成長しています

小田和湾

11月休日の潮回り

3日(水)	9:45 干潮(49)	15:46 満潮(146)	大潮
7日(日)	11:50 干潮(78)	17:22 満潮(152)	中潮
14日(日)	6:25 干潮(52)	13:43 満潮(130)	長潮
21日(日)	11:25 干潮(81)	16:53 満潮(153)	大潮
23日(火)	7:35 満潮(137)	12:32 干潮(94)	中潮
28日(日)	12:41 満潮(127)	19:01 干潮(82)	小潮

11月は祝日が多いので出船のチャンスです。23日火曜日はもちろん営業します。翌24日(水)が振替休業になりますのでご注意ください。秋谷のベストシーズンです。皆様のご来場をお待ちしております。

トラブル回避 ワンポイント

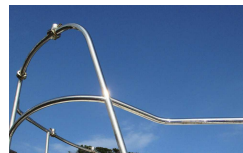


風が強い時の着岸は難しいものです。1回で棧橋内に入れれない時、思わずギアを後進に入れてやり直しますが、実はこの後の操作が一番難しいのです。駆動がかかっていない艇は風に流されやすいので、「少しだけ後退」ではなく、しっかりと態勢が整えられる場所まで後退することが必要です。一旦、風で横向き態勢になると、よほどの距離がないと風上側にハンドルを切っても向きは変わりません。この時、注意すべきは漁船の係留フロート。その下にアンカーロープが伸びているので、接触するとロープを切ってしまいます。向い風の強い時は、流されない程度にスロットルを開けるのも一つの方法です。

フロートに近づかないで

メンテナンスしましょう

船のお手入れはたいへんです。特に船体は潮風と紫外線を浴び続け、気がついたら表面がひび割れたり、金属部はサビが目立ったり、もろくなったり。いずれも手遅れになる前に対処したいところです。FRPの汚れ落としはアセトンが便利。頑固なものはコンパウンドがいいと思いますが、アフターにワックスで表面を保護すると長持ちしますね。意外に気になるのがサイドレールやキャストレールなどステンパイプのサビ。ステンレスといえど経年劣化します。ただ鉄と違って復旧の見込みはあります。ネバーダールなどポリッシュ材を使用して磨くとピッカピカに。面白いもので、金属部分が輝くと船自体がきれいに見えますので、試してみてください。



レールが輝くと映えます



BANへのご加入はお済みでしょうか?

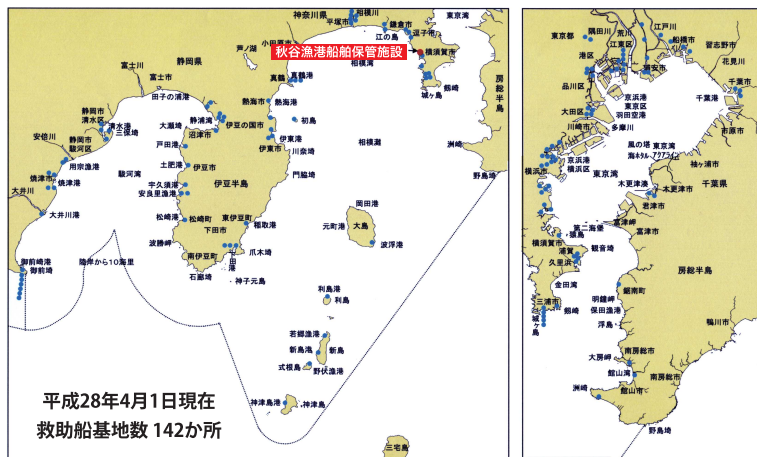
日頃は秋谷漁港船舶保管施設等をご利用いただき誠にありがとうございます。

さて本施設では、募集要項記載ならびに許可の主旨の両面から、ご利用者様が出艇時になんらかのトラブルに遭遇した場合でも救助する術がございません。

つきましては、ご利用者の皆様に対しまして、BAN (Boat Assistant Network)へご加入するようお願い申し上げます。既にご加入されていらっしゃる皆様もおられることと思いますが、万一のトラブルに対して「24時間365日」の対応と「最寄の港への無料曳航サービス」が受けられるもので、皆様の安全なご利用をサポートするものでもあります。

昨今、各地マリーナでも加入を義務付ける向きの動きもありますので、必ずご加入いただきますようお願い申し上げます。

BAN 関東エリア 救助船基地図



BAN 加入者特典

- ① 所属マリーナが近場の場合には、所属マリーナまでの無料曳航サービスが受けられます。
- ② 所属マリーナから遠隔地の場合でも、最寄りの安全な港まで無料曳航サービスが受けられます。
- ③ 所属マリーナが休日の場合や、夜間の場合でも上記サービスが受けられます。

フリーダイヤル コールアキヤに

詳しくは、秋谷船舶保管施設 ☎ 0120-560982 までお問い合わせください。